

主日礼拝

2025 年 3 月 2 日
午前 10 時 30 分

前奏 「私は神から離れない」 (J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「恵み深い主に感謝せよ
慈しみはとこしえに」と
主に贖われた人々は唱えよ。
主は苦しめる者の手から彼らを贖い
国々の中から集めてくださった
東から西から、北から南から。 (詩編 107:1~3)

頌栄 26 「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ちとみ子に
グロリア グロリア グロリア せいなる 霊に

信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

賛美 9-2,4 「わが身にたまひし」

When all thy mercies, O my God
詞: Joseph Addison, 1672-1719 曲: Thomas Ravenscroft, 1592?-1635? DURHAM



2 あふるるおもいに ことばそわず
4 ときとよをこえて とこしえまで
されどわがこころ 主はよみたもう。
われは主にささげん、賛美とかんしゃ。

2	4
あふるるおもいに 言葉添わず	ときとよをこえて とこしえまで
されどわがこころ 主はよみたもう。	われは主にささげん、賛美と感謝。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 39-5 (2 回) 「ハレルヤ」



ハレルヤ、ハレルヤ、
ハレルヤ、ハレルヤ。

聖書 マタイによる福音書 14:22~36

新約(新共同訳)P28~P29

22 それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗せ、向こう岸へ先に行かせ、その間に群衆を解散させられた。23 群衆を解散させてから、祈るためにひとり山にお登りになった。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。24 ところが、舟は既に陸から何スタディオンか離れており、逆風のために波に悩まされていた。25 夜が明けるころ、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに行かれた。26 弟子たちは、イエスが湖上を歩いておられるのを見て、「幽霊だ」と言っておびえ、恐怖のあまり叫び声をあげた。27 イエスはすぐ彼らに話しかけられた。「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」28 すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください。」29 イエスが「来なさい」と言われたので、ペトロは舟から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ。30 しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。31 イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われた。32 そして、二人が舟に乗り込むと、風は静まった。33 舟の中にいた人たちは、「本当に、あなたは神の子です」と言ってイエスを拝んだ。34 こうして、一行は湖を渡り、ゲネサレトという土地に着いた。35 土地の人々は、イエスだと知って、付近にくまなく触れ回った。それで、人々は病人を皆イエスのところに連れて来て、36 その服のすそにでも触れさせてほしいと願った。触れた者は皆いやされた。

賛美 57 「ガリラヤの風かおる丘で」

詞：別府信男，1913-2003 曲：GARIRAYA NO KAZE 藤田尚美，1935-

ガリ ラ ヤ の か ぜ か お る お か で - ひ と
 び と に は な さ れ た め ぐ み の み こ と
 ば を、 わ た し に も き か せ て く だ さ い。

- | | |
|---|---|
| <p>1
 ガリヤの風かおる丘で
 ひとびとに話された
 恵みのみことばを、
 わたしにも聞かせてください。</p> | <p>3
 ゴルゴタの十字架の上で
 つみびとを招かれた
 すくいのみことばを、
 わたしにも聞かせてください。</p> |
| <p>2
 あらしの日波たける湖で
 弟子たちをさとされた
 ちからのみことばを、
 わたしにも聞かせてください。</p> | <p>4
 夕ぐれのエマオへの道で
 弟子たちに告げられた
 いのちのみことばを、
 わたしにも聞かせてください。</p> |

説教 「信仰の冒険へ出よう」

聖餐式 81 「主の食卓を囲み」 (前: 81・1,2・後: 81・3)

1 主のしょくたくをかこみ、いのちのパンをいただき、
 2 主のじゅうじかをおもい、主のふっかつをたえ、
 3 主のよびかけにこたえ、主のみことばにしたがい、

すくいさかずきをのみ、主にあってわれらはひとつ。
 主のみくにをまちのぞみ、主にあってわれらはいき。
 あいのいぶきに満たされ、主にあってわれらはあゆむ。

(くりかえし)
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。

- | | |
|---|--|
| <p>1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、
 救いのさかずきを飲み、主にあつてわれらはひとつ。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。</p> | <p>2 主の十字架をおもい、主の復活をたえ、
 主のみ国を待ち望み、主にあつてわれらは生きる。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。</p> |
| <p>3 主の呼びかけにこたえ、主のみことばに従い、
 愛のいぶきに満たされ、主にあつてわれらは歩む。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。
 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。</p> | |

賛美 411 「うたがい迷いの」

Igjennem Nat og Traengsel 詞：Bernhardt S. Ingemann, 1789-1862 ST. ASAPH 曲：William S. Bambridge, 1842-1923

う た が い ま よ い の や み よ を つ い て、
 お そ れ ず ひ る ま ず わ れ ら は す す む。
 ゆ く て に か が や く ひ か り を あ お ぎ、
 手 を と り は げ ま し よ ろ こ び す す む。

- | | |
|---|--|
| <p>1 うたがい迷いの闇夜をついて、
 恐れずひるまず われらは進む。
 行く手にかがやく光をあおぎ、
 手を取り励まし喜び進む。</p> | <p>3 ひとりのキリスト わが主とあおぎ、
 うれいなやみも たがいに背負い
 ひとつのたたかい 共に苦しみ、
 ひとつのさんびを 喜び歌う。</p> |
| <p>2 ひとつの聖霊 われらを結び、
 ひとつの生命が われらを生かす。
 ひとつの杯、ひとつのパンを
 分け合い、あずかり、新たにされる。</p> | <p>4 兄弟姉妹よ、十字架を担い、
 主イエスに従い み跡をたどれ。
 この世の旅路を 終える時まで、
 生命のかんむりを 目指して進め。</p> |

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」
 会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝禱

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「我らみな一つなる神を信ず」 (J.S.バッハ)

司式 泉 克行
 説教 向井 希夫 牧師
 奏楽 福原 之織
 助餐 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。